

中芸高だより

令和3年度
第1号



高知県立中芸高等学校

校長 小松 博

風薫る五月を迎え、新緑がまぶしい季節となりました。日頃より本校の教育活動へのご理解とご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

このたびの人事異動により、山田正範校長先生の後任として赴任しました小松博と申します。昨年度は、須崎総合高等学校副校長を務めておりました。私は安芸市の出身ですが、今までは、宿毛、高知市内三校、佐川、須崎総合で勤務してまいりまして、県東部地域での勤務は今回が初めてとなります。地元に戻ってきたという思いが強いですが、生徒の皆さんや保護者の皆様、地域の方々、そして田野分校を含む多くの教職員の方々のお力を借りながら、中芸高等学校の経営に全力で取り組む所存でございます。どうかよろしく願います。

さて、令和三年度がスタートして、はや一か月が過ぎました。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、新年度早々臨時休業となり、様々な学校行事や各種大会が延期や中止となりました。再開後は、「新しい生活様式」のもと、徐々に通常の学校生活や教育活動を取り戻してきましたが、今年度も感染症対策をしっかりと行いながら、できるだけ通常の教育活動を続けていきたいと考えております。

生徒の皆さんの中には、四月に入学したばかりで、高校生活に早く慣れるよう努力している一年次生、学校にも慣れ、余裕のある高校生活を送っている二年次生、卒業後の進路決定に向けてサポートをかけている三年次生、とそれぞれ状況の違う生徒がいますが、次の三つのことを願います。

一つ目は、人を思いやり、大切にすることを大切にしたいということです。すべての人には、その人にしかない個性があり、考え方や性格、体格、行動など、自分とは違う面があります。

そのことをお互いに認め合い、相手を受け入れ、思いやりの心をもって、友達や家族、周囲の人々に接してほしいと思います。

特に、中芸高校と同じ校舎内には、山田特別支援学校田野分校があります。田野分校の小学部から高等部までの皆さんとは、一緒に学校行事なども行っています。また、夜間部には、聴講生として、地域の幅広い年齢層の方々が授業を受けに来られています。この校舎では、東部地域の様々な方々が一緒に学んでいます。ここで学ぶ皆さんは、すべて自分と同じ仲間であるという意識を持ち、相手を思いやり、大切にすることを忘れずに学校生活を送ってください。

二つ目は、地道に学習に取り組む姿勢を身に付けてほしいということです。「継続は力なり」という言葉がありますが、コツコツと取り組むことが、将来的に自分自身の人間的成長や進路実現に向けて大きな力となることでしょう。また、勉学に励むためには、その土台となる生活習慣の確立が大切になります。挨拶や適切な言葉遣いができる、時間やルールを守る、といった基本的な生活習慣を身に付けてほしいと思います。

三つ目は、将来の夢や目標を持ち、それに向かって努力する姿勢を持つてほしいということです。高校生活の間に勉強はもちろんのこと、学校行事、部活動、探究活動、社会貢献活動など様々なことにチャレンジして自分の世界を広げ、夢を探していくてください。その取り組みが、将来社会に出て必要な自主性や責任感、協調性などを身に付けることにつながります。

本校では、昨年度に引き続き、遠隔教育システムを活用した授業も行います。教科の学力を伸ばすとともに、進学・公務員対策や様々な職業人の講演を聞く機会もありますので、是非活用して進路実現に活かしてください。

最後になりますが、四月に入り、再び新型コロナウイルス感染が拡大しています。生徒の皆さんは、マスクの着用、検温、手洗い、手指消毒、換気、三密（密閉・密集・密接）の回避といった基本的な感染症対策を引き続き実行してください。また、感染者が出たとしても、誹謗中傷を絶対行わないなど、一人一人の人権を尊重した、思いやりのある行動をお願いします。

令和三年度が生徒の皆さんにとって充実した素晴らしい一年となるように、教職員一同、「チーム中芸」で精一杯努力してまいりますので、保護者及び地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和三年度入学式



四月七日（水）
昼間部十五名と夜間部一名の入学式が行われました。
式では、入学生を代表し、永野萌花さんが決意を宣誓しました。

対面式

四月九日（金）、二・三年生と新入生との対面式を行いました。生徒会長の松平翔吾さんが歓迎の言葉を述べ、一年生代表の佐藤一樹さんがお礼と決意の言葉で応えました。

合同防災訓練



四月十五日（木）、昨年に引き続き、中芸高校昼間部と、山田特別支援学校田野分校と、田野小学校との合同避難訓練を実施しました。前日の大雨が嘘のような快晴のもと、避難してくる小学生がスムーズに整列できるよう、高校生は誘導を手伝いました。今年は小学生の避難完了が昨年よりも約一分早くなり、防災への意識が高まっています。高校生も災害への備えの必要性を再確認する訓練となりました。

